

MORIWAKI TITAN MONSTER

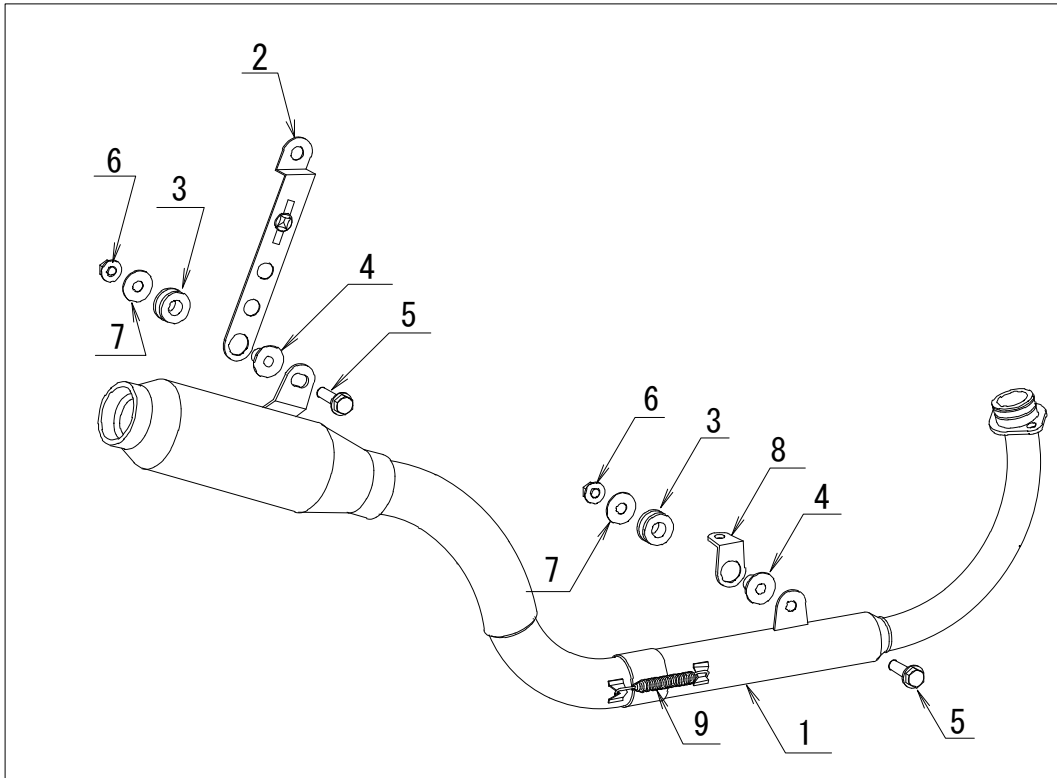
ホンダ モンキー Z50J

A400-136-1156

取扱説明書

作業される前に必ずお読み下さい

【パーツ一覧】



No	部品番号	商品名	入数	単価(税抜)
1	A400-136-1156	マフラーA s s y	1	¥43,000
2	A40MS136-0000	マフラステー	1	¥650
3	0312-17250-DR00	グロメット	2	¥280
4	0312-11250-F010	グロメットカラー	2	¥320
5	973010-08030	フランジボルト 8×30	2	¥250
6	2100-080000010	8mmフランジナット	2	¥100
7	990002-08000	ワッシャー	2	¥180
8	1871-136-000	サブステー	1	¥320
9	0A02-08709-FH01	マフラスプリングロング	1	¥320
10	00710088	JMCAカード	1	非売品
		取扱説明書	1	非売品

【製品名】 TITAN MONSTER モンキー

【仕様】 《適応車種》 年式 1974年以降

《車種名》 モンキー、モンキーBAJA、ゴリラ

《フレーム型式番号》 Z50J

《キャブレター》 スタンダードキャブレター

《その他》 装着のままオイル交換可能

⚠ 注意事項

- ① マフラーは非常に高温になります。停車時には廻りに子供が遊んでいる場所や、狭い場所で人が触れないように十分に気を配って下さい。
- ② 作業するときエンジンを十分冷ましてからおこなって下さい。やけどするおそれがあります。
- ③ エンジンを始動させる場合は、換気の良い場所でおこなって下さい。
- ④ マフラー取付け時には脱落などのトラブルが発生しないよう、各部の締め付けを十分確認して下さい。またマフラーが各部と干渉していないか確認し必要に応じて各部の増し締めをおこなって下さい。
- ⑤ 本製品は、スタンダード車両を対象としたマフラーです。取付け車両にスイングアーム、ステップ等の改造がありますと装着出来ない場合があります。不正な取付けによるマフラー破損等の返品はお受けしておりませんのでご了承下さい。
- ⑥ 本製品は、50cc仕様です。エンジンの排気量等改造された車体に取り付けますとマフラーが破損する可能性があります。エンジン改造によるトラブルの返品はお受けしておりませんのでご了承下さい。
- ⑦ フロントパイプとテールパイプは一体構造となっているため、分解しないで下さい。分解されると、元の位置に組戻せなくなる可能性があります。

【準備物】

〈工具〉 10、14mmメガネまたはスパナ 各1本
12mmメガネまたはスパナ 2本
トルクレンチ

〈その他〉 軍手、脱脂洗剤

マフラー交換の際は、エキゾーストガスケットを出来るだけ交換することをお奨めします。

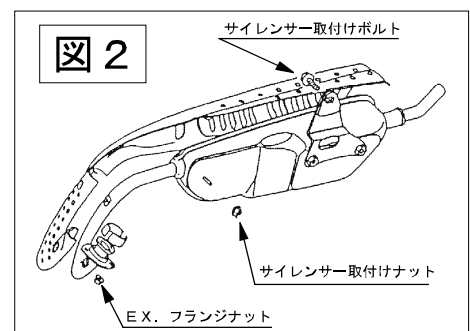
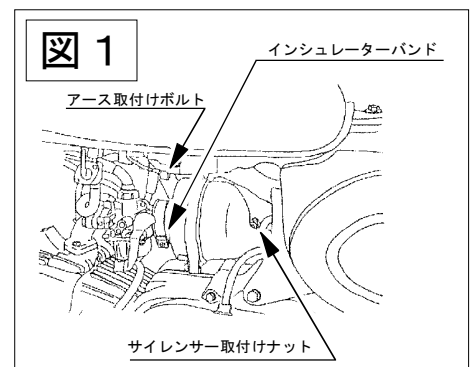
ホンダ純正部品 18291-HB2-900

【作業工程】

《1. スタンダードマフラーの取外し》

- ① 作業するときは、けが防止のため、軍手を着用して下さい。
- ② 車体左側からエアクリーナーとキャブレターをつなぐインシュレーターバンドをプラスドライバーで緩め、アース端子が付いているボルトを外します。 (図1)
- ③ エアクリーナーをキャブレターから取外します。
- ④ マフラーを止めているナットを外し、逆の手順でエアクリーナーを取り付けます。
※ マウントボルトに、アース端子を共締めすることを忘れないで下さい。
- ⑤ サイレンサー取付けナットを少し掛かっている状態まで緩めます。 (図2)
- ⑥ エキゾーストフランジ (以下EX. フランジとする) のナットを2ヶ外します。 (外したナットは、後で使用します。) (図2)
- ⑦ サイレンサー取付けナットを外し、マフラーを外します。

各部名称は、図を参照して下さい



《 2. 取付け準備》

- ① マフラスター、サブスターに付属のグロメット、グロメットカラーを取り付けます。(図3、図4)
- ② 右側リアショック上部ナット、ワッシャーを外し、マフラスターをナットで挟み、仮止めします。(ワッシャーは、使用しません。)
- ③ ステップを固定しているエンジン下側のボルトを外し、サブスターをボルトで挟み、仮止めします。(図5)

《 3. モリワキマフラーの取付け》

- ① マフラーを傷から防止するためエンジンの下に段ボールか、古い毛布を敷きます。
- ② マウスピース側をエンジンのエキゾーストポートへ差し込み、EXフランジをエンジンに仮止めします。
※ 左右均等に締めて下さい。
- ③ マフラスターとサイレンサースターを付属のボルト、ナット、ワッシャーで仮締めします。(全体図)
※ サイレンサースターとマフラスターが平行になる様にテールパイプ Assy を回して調整して下さい。
- ④ フロントパイプスターとサブスターを付属のボルト、ナット、ワッシャーで仮締めします。(全体図)
- ⑤ マフラー各部が干渉(サイレンサーとスイングアーム、テールパイプとブリーザーホースなど)していないか確認します。
- ⑥ 本締め順序は、
 - 1 EXフランジ部(※左右均等に)
 - 2 右側リアショック上部のナット
 - 3 マフラスターとサイレンサースター
 - 4 エンジンとサブスター
 - 5 フロントパイプとサブスター
 の順で締め付けます。

推奨トルク

EX フランジナット	1 0 N・m(1.0 kgf・m)
フランジボルト 8×30	2 4 N・m(2.4 kgf・m)
右側リアショック上部のナット	2 5 N・m(2.5 kgf・m)
エンジン下側ボルト	2 2 N・m(2.2 kgf・m)

《 4. 確認》

エンジン始動前の確認

- ① 干渉している箇所がないか。
- ② 各ボルトの締め忘れがないか。
- ③ 脱脂洗浄剤等でマフラーを拭き取って下さい。

エンジン始動直後の確認

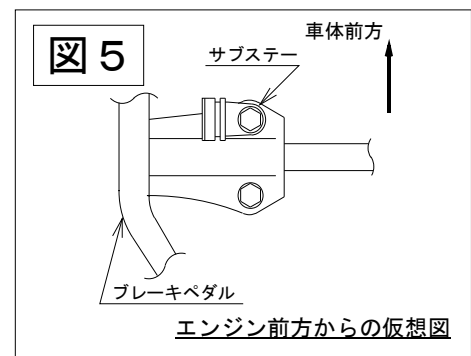
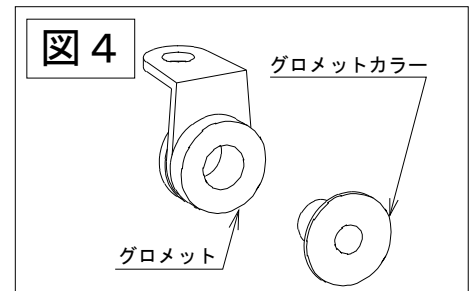
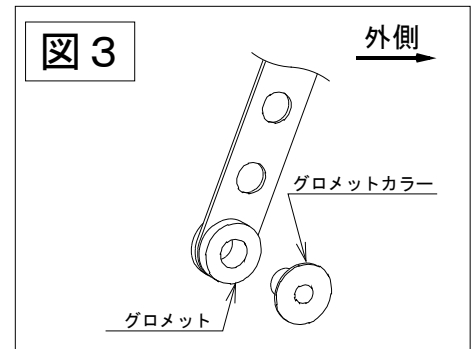
- ジョイント各部から排気漏れがないか確認します。
※ マフラーの熱に注意して作業して下さい。

運転後の確認

- ① 各部ボルト、ナットの緩みがないか。
※ エンジンの熱が十分下がってから作業して下さい。
※ サイレンサー後方に水抜き穴がありここから水蒸気、水滴等がでる場合がありますが、性能上問題ありません。

【セッティングについて】

モリワキストリート用マフラーは、すべてスタンダードの状態で性能が発揮されるように設計されています。したがってマフラー装着に伴うキャブレターなどのセッティングの必要はありません。万が一マフラー交換に伴う性能悪化が見られるような場合は、すぐに使用を中止し取付け箇所及び周辺を再度点検し取付け状態や各部機能をご確認下さい。状況が変化しない場合は販売店、整備工場等にご相談下さい。





【JMCAについて】

全国二輪車用品連合会（JMCA）は、違法改造部品問題が直接の設立動機となり、警察庁をはじめ、国土交通省、経済産業省の指導のもと、不法製品の一扫とその製品に歯止めをかける活動をしています。

「JMCA認定プレート」にて認可されたマフラーは、（財）日本車輛検査協会の公認検査を受け法規制値をクリアしたうえ、安全をみこした自主規制をもクリアした製品です。

【メンテナンスについて】

- このマフラーは、フロントパイプとテールパイプASSYがあらかじめ組み付けられています。この前後パイプの間の連結は決して外さないで下さい。これは前後パイプの組付けのクリアランスがかなり詰めてあるため、お客様自身で外されると、再度組付けができなくなる可能性があるためです。
- マフラー取付けボルトの緩み、排気漏れ、転倒による取付け不良などを定期的に点検して下さい。
- チタンパイプのお手入れにつきましては、十分脱脂を行っていただくことが前提となります。走行による汚れにつきましては、市販のピッチクリーナー等をご使用下さい。
- 本製品は、装着したままオイル交換が可能です。
- 同封のJMCA認可カードは、走行時にご携帯下さい。

本説明書は末永く保管し、メンテナンス等の機会には、活用するようにして下さい。

製品上の問題点、取付け時の不明点等がありましたら、お気軽にお電話にてお問い合わせ下さい。

記載内容、価格、仕様等は、製品改良のため、予告なしに変更する場合があります。あらかじめご了承下さい。

(株)モリワキエンジニアリング(営業部)

〒513-0825 三重県鈴鹿市住吉町6656-5

TEL 059-370-0090 FAX 059-370-0152

HOME PAGE <http://www.moriwaki.co.jp>